

三菱業務用ロスナイ用システム部材
寒冷地運転用回路
形名

PZ-N50KU

対象機種名

学校用ロスナイ 天吊露出形 SCH-40ES₂, 50ESH₂
学校用ロスナイ 床置形 SCF-40, 50LS₂

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

■据付工事は販売店・工事店さまにおいて有資格者である電気工事士の方が電気設備に関する技術基準、内線規程に基づいて実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。

据付工事が終わりましたらこの据付工事説明書は、お客さまに必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

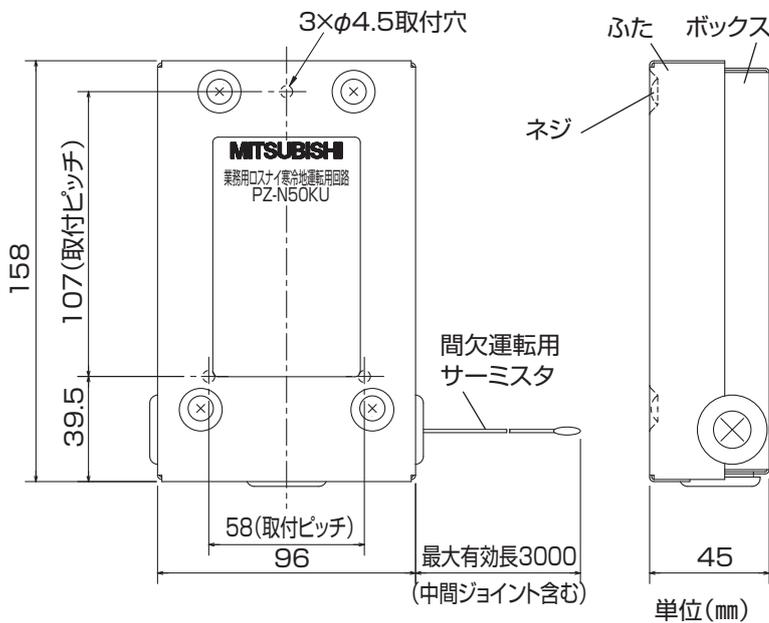
 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因になります	 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量を使用する 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります
	 風呂・シャワー室での使用禁止		浴室など湿気の多いところには、取付けない 感電や故障の原因となります
			漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合、火災のおそれがあります
			指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの		
 禁止	直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災のおそれがあります	 指示に従い必ず行う	取付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります	
			取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります	
			ネジは必ず指定のものを使用する 強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になるおそれがあります	

特 長

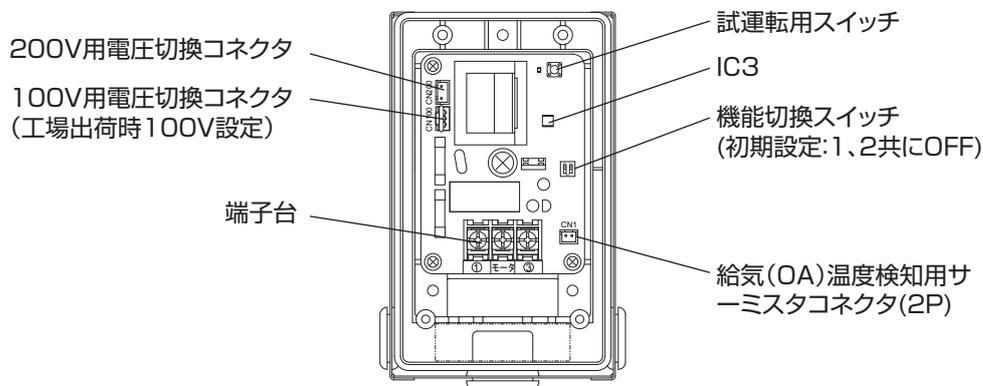
学校用ロスナイにこの寒冷地運転用回路を取付けることで給気送風機の間欠運転を行い、給気空気条件-10℃まで使用可能となります。

各部のなまえと外形寸法図



付属部品

間欠運転用サーミスタ ……1個  (リード線3000mm付)	コードブッシュ ……2個 
パッキン……1枚 	チューブ……1本 
スクリューキャップ ……3個 	コードクリップA ……10個 
取付ネジ……4本 	コードクリップB ……1個 
	コードクリップC ……大1個 小2個 

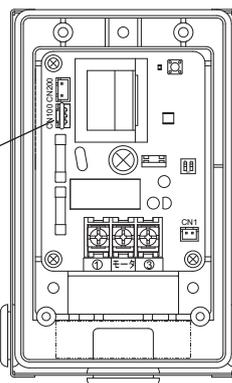


仕 様

形 名	PZ-N50KU	
電 源	単相 AC100V・200V※ 50 / 60Hz ※ 200V で使用する場合は、必ず PZ-N50KU 本体内部の電源コネクタを切り換えてください。 切り換えないと回路が破損します。	
接 続 方 法	端子台接続	
間 欠 運 転 仕 様	① 60分運転 10分停止 ② 30分運転 30分停止 (①、②選択可能)	
運 転 内 容	ロスナイの給気温度が所定の温度以下になると、給気の間欠運転を行う。 給気温度がさらに低下すると、給気を停止(5分運転 55分停止)する。	
間 欠 運 転 温 度	A. 0℃ B. -10℃ (A、B選択可能)	
給 気 停 止 温 度	A. -10℃ B. -15℃ (A、Bは間欠運転温度に各々連動)	
感 熱 部	給気(OA)温度検知用サーミスタ(間欠運転用)	
質 量	0.7 kg	

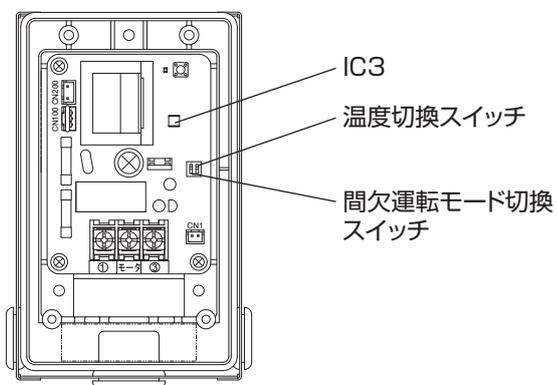
電源仕様の設定

電圧切換コネクタ
工場出荷時 100V



電圧切換コネクタが 100V に設定されていることを確認してください。(出荷時は 100V 設定です)
誤って 200V に設定した場合は、回路が破損するおそれがあります。

間欠運転機能の設定



1. 寒冷地運転用回路ボックスのふたを締め付けているネジ(4本)をはずす。
2. 温度切換スイッチ(1)が OFF (0°C)であることを確認する。
3. 間欠運転モード切換スイッチ(2)を ON 側にスライドさせ、間欠運転仕様を 30 分運転、30 分停止に設定する。

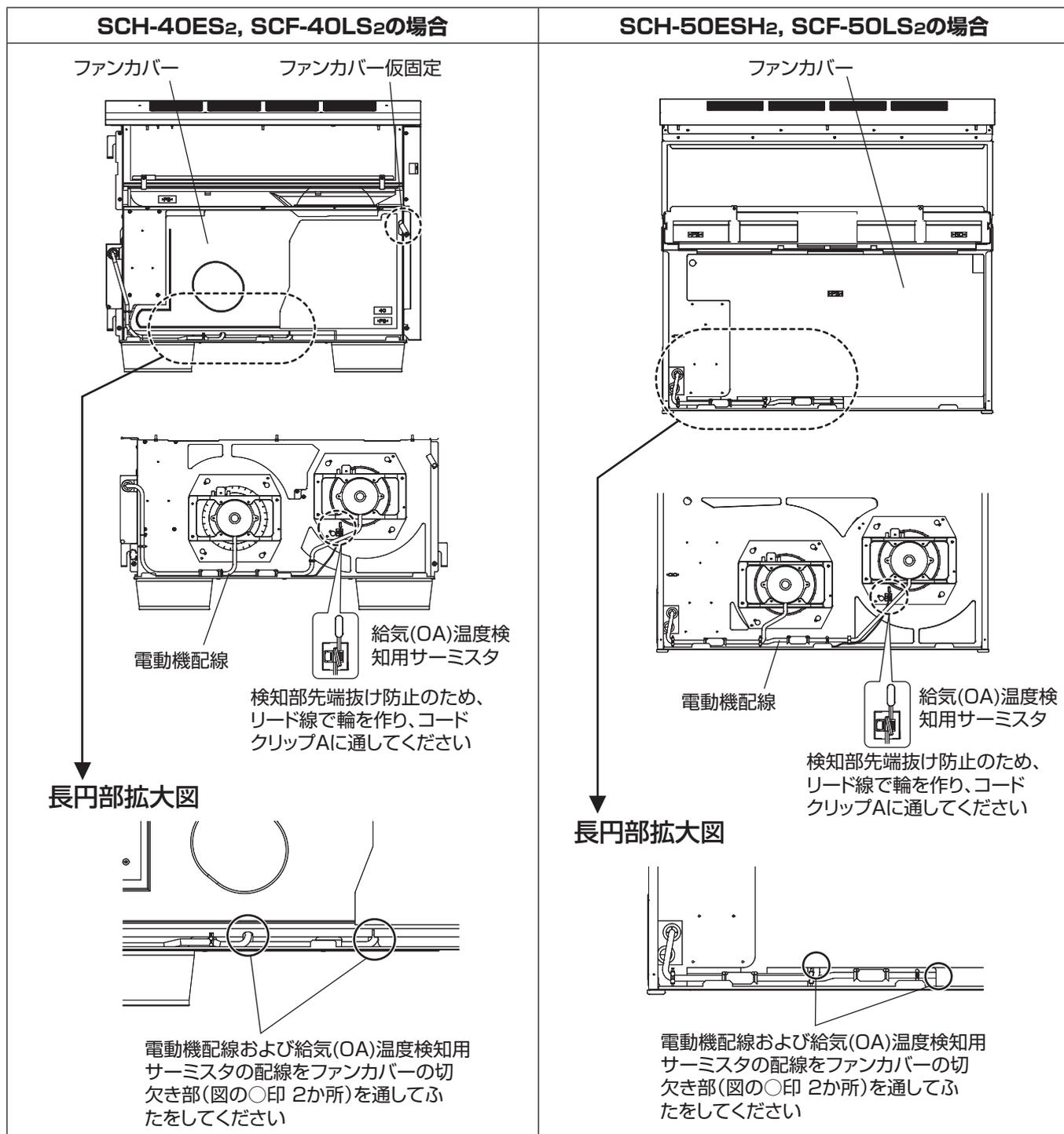
お願い

スイッチを切り換える際に IC3 に触れないようご注意ください。
(誤って触れますと静電気により動作不良となるおそれがあります)

取付方法

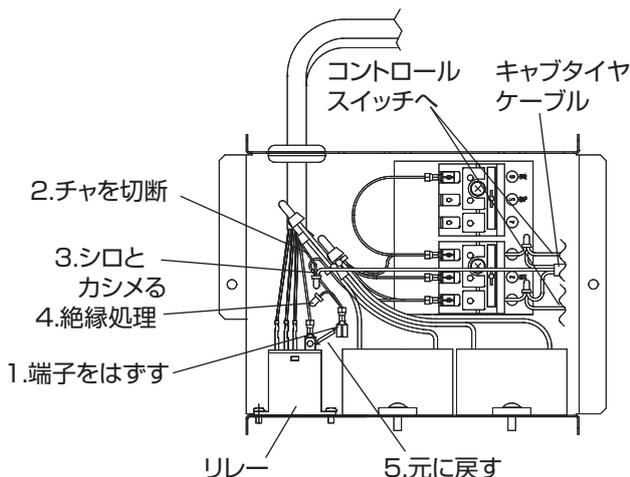
給気 (OA) 温度検知用サーミスタの取付方法

1. 製品付属の取付工事説明書を参考に、フロントパネル、サイドカバー、フロントカバーを取りはずす。
2. ファンカバー仮固定をはずし、ファンカバーを取りはずす。(SCF-50LS₂にはファンカバー仮固定はありません)
3. 下図の位置に付属の給気 (OA) 温度検知用サーミスタリード線を付属のコードクリップ A で左図の位置に固定し配線する。
4. 配線終了後、ファンカバーを元通り取付けて、サーミスタを電動機配線に沿うように配線する。

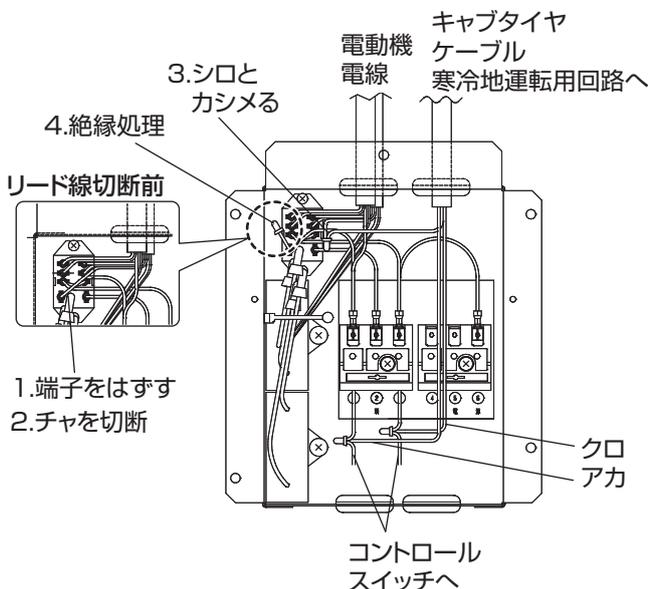


取付方法 つづき

SCH-40ES₂, 50ESH₂, SCF-40LS₂の場合



SCF-50LS₂の場合



圧着端子 接続例

絶縁被覆がない場合は
必ず絶縁処理をする



ロスナイ本体側結線工事方法

端子台カバーをあげ、図を参照しロスナイ本体側の電気工事を行う。

1. リレー端子より、チャ、アカが共カシメしてあるリード端子をはさず。
2. はずした端子の給気用電動機共通線（チャ）を切断する。
3. 2で切断したリード線のモータ中継コネクタ側をキャブタイヤケーブルのシロと市販の絶縁被覆付圧着端子等で接続し、絶縁処理をする。
4. もう一方のリレー端子側は市販の絶縁被覆付圧着端子等でカシメて確実に絶縁処理を行う。
5. はずしたリード端子を元に戻す。
6. キャブタイヤケーブルの残り2本を速結端子の①にアカ、③にクロを接続する。

お願い

- キャブタイヤケーブル等を端子台に接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続してください。使用しないと漏電・火災などの原因になります。
- 絶縁被覆付圧着端子は必ずリード線（給気電動機共通線:0.5mm²、キャブタイヤケーブル:1.25mm²）に適合したものを使用し、専用のかしめ工具を使用して確実にかしめ接続をしてください。使用しないと漏電・火災などの原因になります。

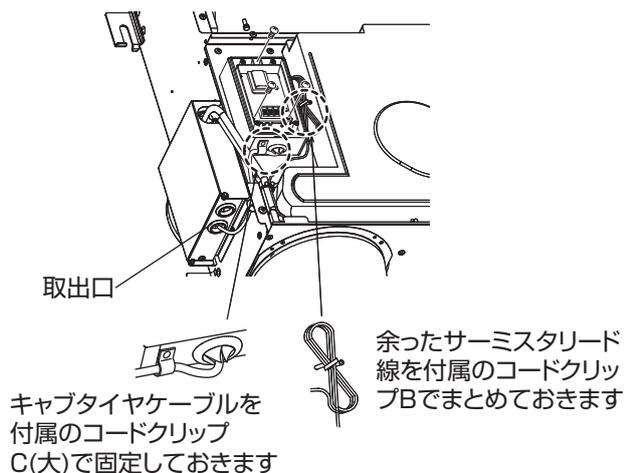
メモ

- 圧着端子、裸圧着スリーブおよびキャブタイヤケーブル（VCT3 芯 1.25mm² 長さ約 1m）はお客さま手配となります。

取付方法 つづき

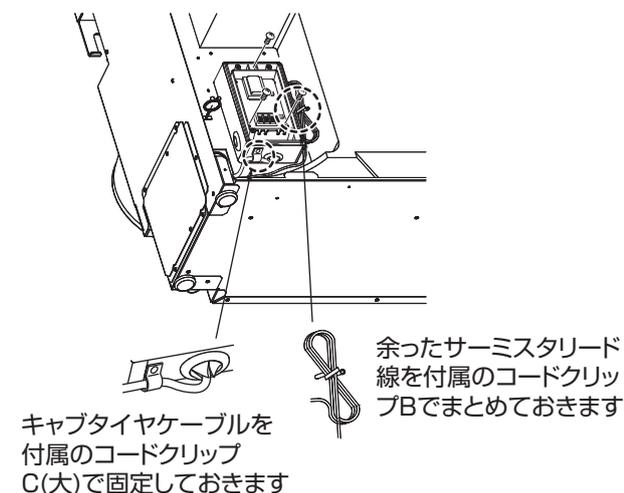
SCH-40ES₂, 50ESH₂, SCF-40LS₂の場合

※図はSCH-40ES₂を示す



3

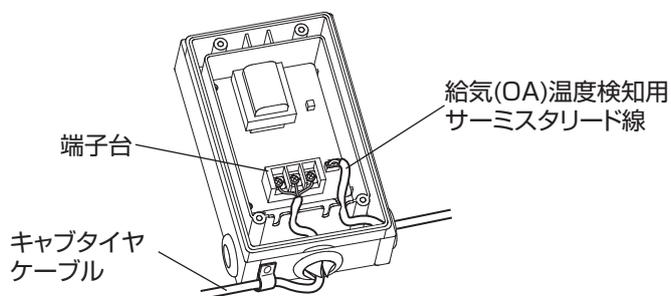
SCF-50LS₂の場合



寒冷地運転用回路ボックスの取付け

1. キャブタイヤケーブルを端子台カバーの取出口より取り出す。
2. 寒冷地運転用回路ボックスを左図のように付属のネジ3本で取付ける。
3. 付属のコードクリップC (大) で部材ケースにキャブタイヤケーブルを固定する。また、余ったセンサーリード線を付属のコードクリップBでまとめる。

4



寒冷地運転用回路ボックスの結線工事

図のように回路ボックス側への電気工事を行う。

1. ②で接続したキャブタイヤケーブルを回路ボックス内基板上端子台①にアカ、**[-]**にシロ、③にクロを市販の丸形端子でカシメて接続する。
2. ①で配線した給気 (OA) 温度検知用サーミスタを基板上コネクタ CN1 (2P) へ差し込む。
3. 回路ボックスのふたを元通り取付ける。

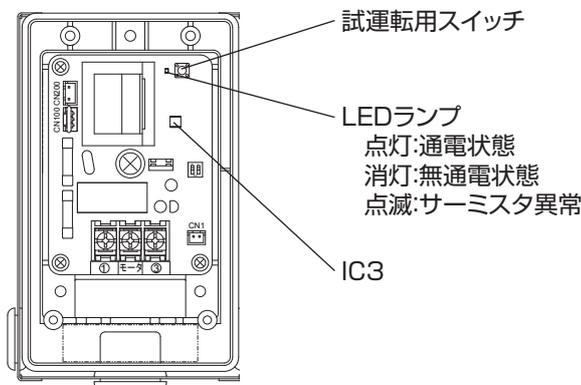
お願い

- 電源電線およびセンサーリード線の固定は、接続部に力がかからないよう確実に行ってください。固定が不完全ですと漏電・火災の原因となります。

試運転

ロスナイ本体の据付工事および電気工事が終わりましたら、結線が間違っていないか確認して試運転を行ってください。

- 寒冷地運転用回路ボックスの試運転を行う前に、必ずロスナイ本体の試運転を本体の据付工事説明書に従い、行ってください。
- ロスナイ本体を運転させながら次の確認を行ってください。



1. ネジ (4本) をはずし、寒冷地運転用回路ボックスのふたを取りはずします。
2. 基板上の試運転用スイッチを押します。
 - 押し続けた状態で給気用送風機が停止するか確認します。
3. 回路ボックスのふたを元通り取付けます。(ネジ4本)
 - 給気用送風機が停止しない場合
給気用送風機が停止しないときは誤結線です。
電源を切り、結線図を見て正しく結線し直してください。

お願い

試運転スイッチを押す際、IC3 に触れないようご注意ください。
誤って触れますと静電気により回路が破損するおそれがあります。

結線図

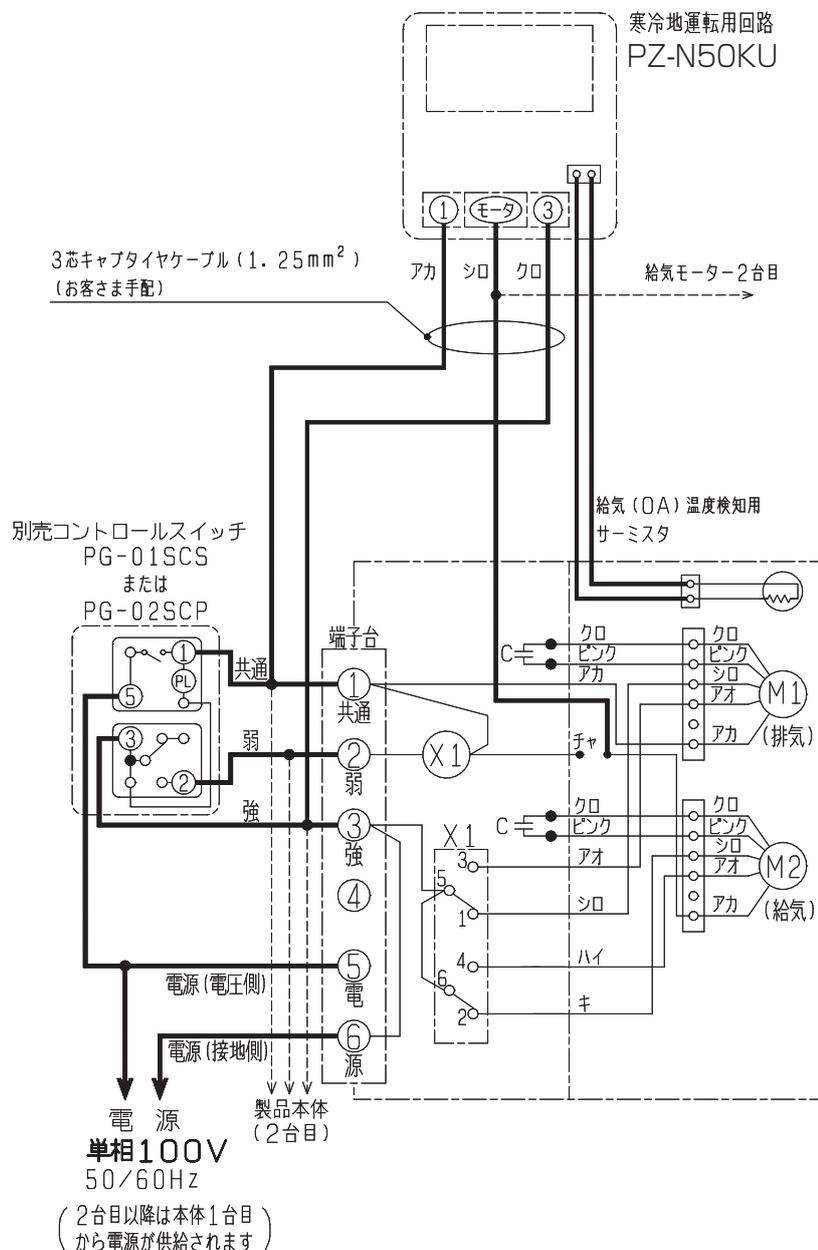
※太線および破線部分を有資格者である電気工事士にて結線してください。

※複数台運転の場合、製品2台目以降の電源は製品1台目から供給されるため、必要ありません。

※単線とより線を結線する場合には、JIS C 2806の裸圧着スリーブの“突き合せ用スリーブ”相当品（市販）にてカシメ接続し、絶縁キャップ等で確実な絶縁処理を施してください。

形名	同一機種 可能台数	異機種 組合せ指数
SCH-40ES ₂	5	0.2
SCH-50ESH ₂	4	0.25
SCF-40LS ₂	5	0.2
SCF-50LS ₂	4	0.25

※組合せたい製品の異機種組合せ指数合計が1.0以下まで複数台運転可能です。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号